

日本共産党の藤木くにあきでございます。私は、財政難のもとでも、市民のくらしと、福祉を優先し、同時に、行政の民主化、民主的効率化を推進するという立場から、5つの項目について、市長に、質問いたします。

質問の第一は、イノシシ駆除の徹底についてです。

2000年ころからイノシシによる被害が急増し、農家の営農を脅かし続けています。こうしたなか、市長は、イノシシ駆除をどう徹底し、実績をあげようとしておられるのか、被害に苦しむ、農家のみなさんの切実な願いを代弁して、その対策を具体的に、お尋ねいたします。明確な答弁を求めるものです。

質問の第二は、国営公園内での「地域物産市」の中止への対応についてです。

国営備北丘陵公園内で、開園以来13年間続けてきた「地域物産市」を突然中止したのはなぜなのか。それを維持、充実するのも第三セクターの重要な役割であるという観点から、株式会社グリーンウィンズさとやまの筆頭株主であり、取締役会長を務める滝口市長に、明確な答弁

を求めるものです。

あわせて、今後、どう対応しようとしておられるのか、明確な答弁を、重ねて求めるものです。

質問の第三は、休校の活用についてです。

私は、先の3月議会でも、提案していますが、休校中の学校を活用して、比較的健康的な、高齢者のみで暮らしておられる方などが入居できる、自立支援型のグループホームを整備してはどうかと考えていますが、お互い様といえる社会を目指すと言われる、市長のお考えを、改めて、お尋ねいたします。明確な答弁を求めるものです。

質問の第四は、資源ゴミ、紙おむつの無料収集についてです。

私は、弱い立場にある市民の方々の負担をいくらかでも軽減するため、資源ゴミ、紙おむつについては無料収集してはどうかと、先の3月議会でも提案いたしました。

この問題で、指摘しなくてはならないのは、ゴミの収集は、自治体の基本的な仕事であり、本来、所得に応じて負担いただく税金による収入によって対応すべきもので、所得の低い人ほど負担が重くなる、自治体版の消費税のような、「ごみ収集料金を、低所得者の市民にも、一律に負担させる」というようなことは、本来やるべきではないし、多くの市では、おこなって

いない、という点です。

そこで、せめて、資源コミと、紙おむつへらいは、無料で収集してもよいのではないかと、提案しているわけですが、弱者の視点に立って市政をすすめると公約されている市長として、どのようにお考えか、改めて、明確な答弁を求めるものです。

質問の第五は、電算システムについてです。

コンピューターを使用して、民主的で効率的な行政事務をすすめることは、自治体の基本的任務です。

しかし、合併して3年経過した現在でも、電算システムの不具合が解消していないと聞きますが、現在、電算システムの状況はどうなっているのか、まず、明確な説明を求めるものです。

私が聞いているように、引き続き不具合があるとするなら、請負業者である、株式会社日立情報システムの「重大な瑕疵」に該当すると考えますが、市長は、どのような認識をおもちなのでしょう。

私は、この問題について、2005年の6月議会、同じく、2005年の9月議会でも指摘していますが、この際、リース契約業者の選定見直しを含め、抜本的な対策を検討すべきだと考えますが、市長は、この問題について、どのようにお考えか、明確な答弁を、改めて求め、私の質問いたします。